

第12回 伊予銀行決算説明会 & 特別講演会



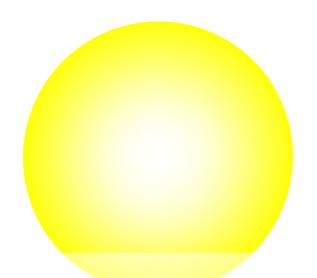




~シンガポールの夜景~

Challenge & Smile





伊予銀行の概況

伊予銀行のプロフィール



本	店	所	在	地	愛媛県松山市																						
創				業	明治11年3月15日(第二十九国立銀行)																						
資	在 金			金	209億円(発行済株式総数323, 775千株)																						
従	業 員 数 役員22人、職員2,981人(臨時を除く)		役員22人、職員2,981人(臨時を除く)																								
拠	见 点 数		点数		点 数		点数		数 国内150か店(出張所7を含む)、海外1か店(香港)																		
			海外駐在員事務所3か所(ニューヨーク、上海、シンガポール)																								
外	部	,	恪	付	AA-: 格付投資情報センター(R&I)																						
A:スタンダード&プアーズ(S&P)					A:スタンダード&プアーズ(S&P)																						

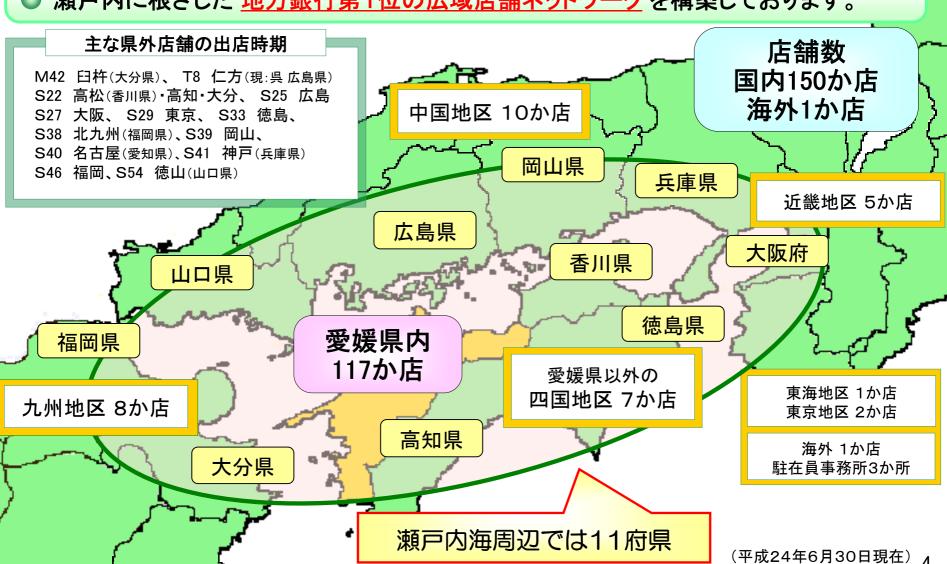
連結自己資本比率(国際統一基準)					13. 06%	
連	結	子	会	社	数	11社 (注)
連	結 従 業	員 数(臨時	を除く	()	3, 257人

<平成24年3月31日現在>

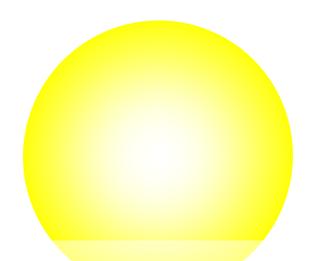
店舗ネットワーク



- 瀬戸内圏域を中心に、13都府県に店舗を配置しております。
- 瀬戸内に根ざした <u>地方銀行第1位の広域店舗ネットワーク</u> を構築しております。







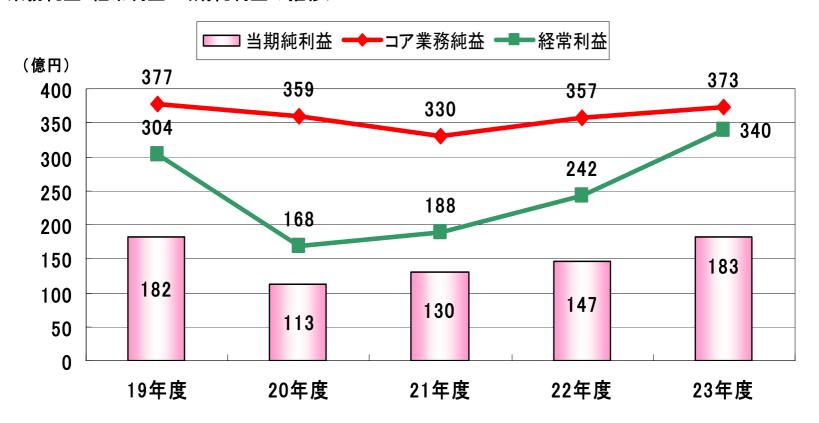
平成23年度決算の状況

損益の状況



- ◯ コア業務純益は、預金・貸出金の増強および経費減少によって増益となりました。
- 経常利益は、不良債権処理費用の減少等により<u>過去最高益</u>となりました。

<コア業務純益・経常利益・当期純利益の推移>





「コア業務純益」とは?

一般企業の『営業利益』に相当する指標であり、銀行の基礎的な収益力を示します。

預金等・貸出金・預り資産残高の状況

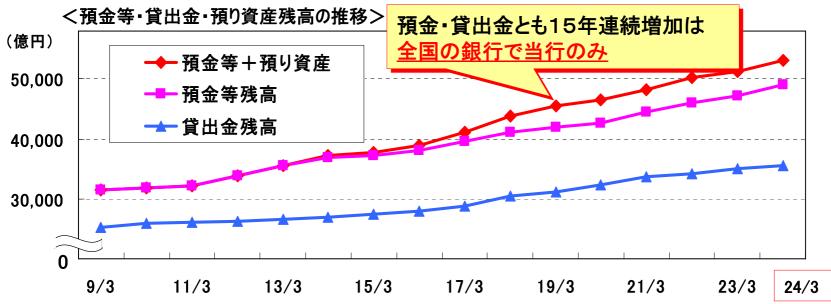


- ●経済環境が厳しい中で、「預金等・貸出金・預り資産」は<u>引き続き増加</u>しております。
- ●預金等・貸出金残高は<u>15年連続で増加</u>いたしました。

(単位:億円)

		22/3末	23/3末	24/3末	前年度比
預	金等	46,088	47,109	49,002	+1,893
	うち個人預金	30,243	30,768	31,465	+697
預	り資産残高(注)	4,070	4,110	4,128	+18
預金等+預り資産		50,158	51,219	53,131	+1,912
貸	出金	34,221	34,878	35,590	+712
	うち個人融資	8,871	8,895	8,957	+62

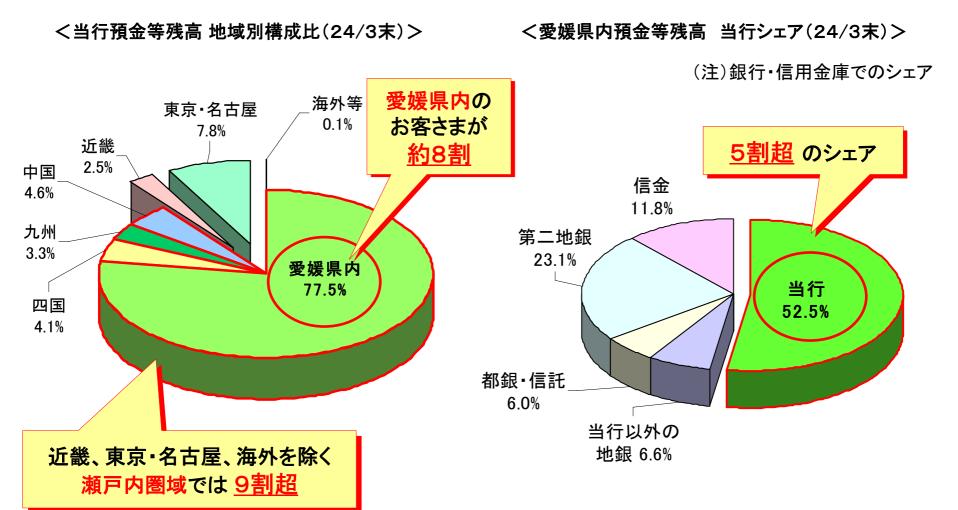
(注)預り資産残高・・・国債、投資信託、保険の各残高の合計。22/3末より金融商品仲介による残高を含む。



預金等の状況



●「預金等」残高は、4兆9,002億円(前年度比+1,893億円)となりました。



貸出金の状況

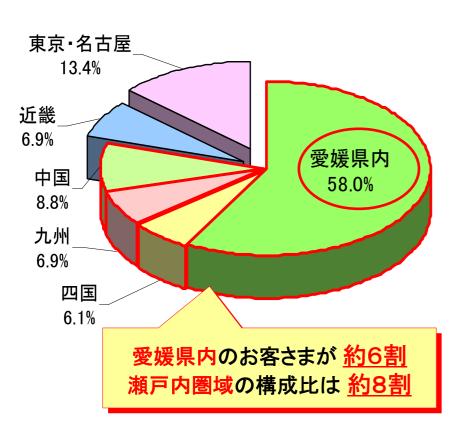


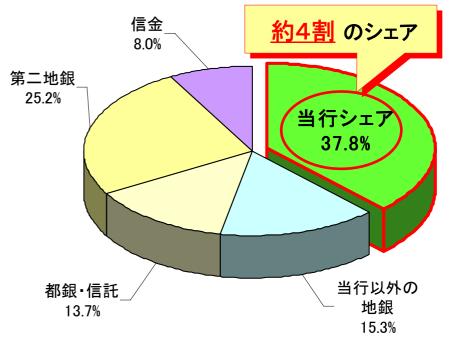
●「貸出金」残高は、3兆5,590億円(前年度比+712億円)となりました。

<当行貸出金残高 地域別構成比(24/3末)>

<愛媛県内貸出金残高 当行シェア(24/3末)>

(注)銀行・信用金庫でのシェア



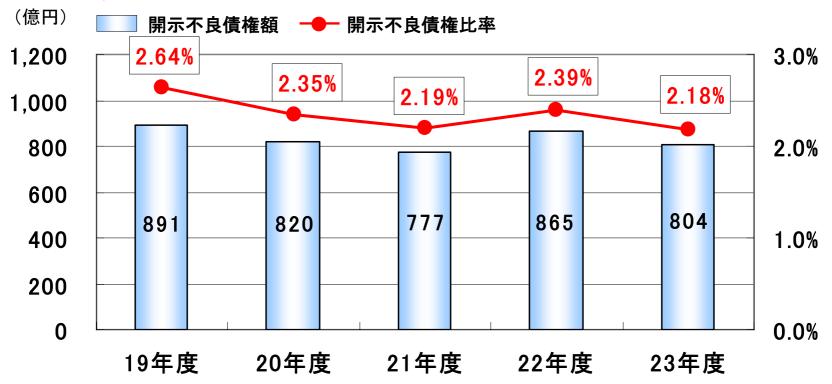


開示不良債権の状況



- 健全性の目安となる「開示不良債権比率」は、2.18%と 引き続き低い水準を維持しております。(地方銀行平均 3.14%)
- 経営改善へのご支援に努め、不良債権の削減を目指します。

<開示不良債権額・比率推移>





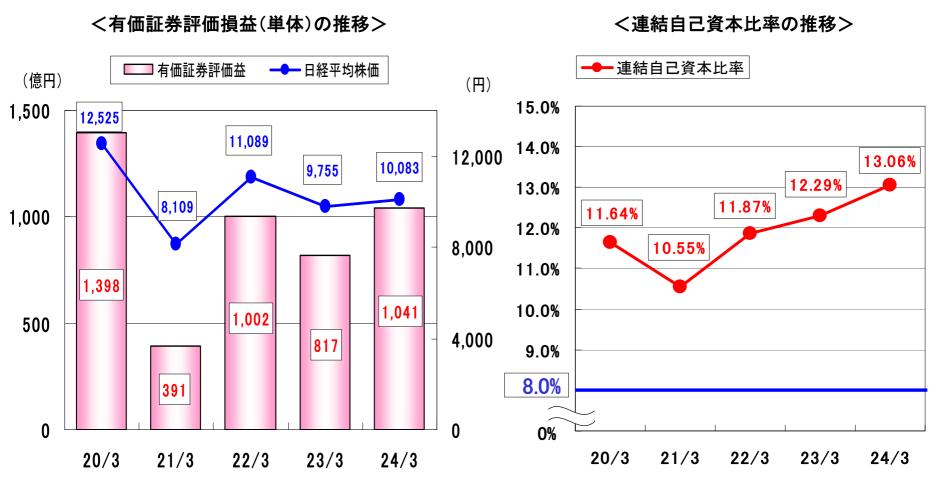
「開示不良債権」とは?

金融再生法により、一定の基準に基づき、金額の公表が義務付けられている債権です。

有価証券評価益と 自己資本比率の状況



- ●「有価証券評価益」は1,041億円と地銀トップクラスを維持しております。
- ●「連結自己資本比率」も 13.06%と高水準で、健全性は十分です。



財務面の特徴(23年度)



- <u>健全性・成長性・収益性ともに、十分な水準</u>を維持しております。
- 今後も、各経営指標の向上を目指してまいります。

健全性

有価証券評価益(連結)

当行実績: 1,065億円 地銀平均: 279億円

不良債権比率 (金融再生法)

当行実績: 2.18% 地銀平均: 3.14%

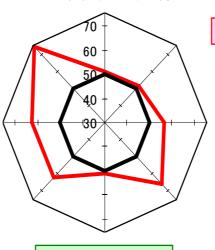
ROA

(コア業務純益/総資産)

当行実績: 0.63% 地銀平均: 0.45%

預金等平残増加率(過去3年)

当行実績: 11.97% 地銀平均: 11.06%



ROE

当行実績: 4.88% 地銀平均: 4.48%

収益性

成長性

貸出金平残増加率(過去3年)

当行実績: 6.21% 地銀平均: 5.30%

コア業務粗利益増加率(過去3年)

当行実績: 1.74% 地銀平均: ▲3.68%

OHR

(経費/コア業務粗利益)

当行実績:55.97% 地銀平均:70.35%

<地銀平均に対する偏差値>

地銀平均=50 当行

24年度の利益予想



●24年度の「コア業務純益」は370億円(前年度比△3億円)、 「当期純利益」は160億円(前年度比△23億円)を見込んでおります。

●24年度(単体)業績予想

(単位:億円)

		23年度:	年間実績	24年度年間予想				
		中間期実績		中間期予想	前年同期比		前年度比	
٦,	ア業務粗利益	428	847	430	+ 2	840	- 7	
	うち資金利益	394	783	395	+ 1	775	- 8	
	うち役務等利益	26	50	27	+ 1	51	+ 1	
経費		241	474	245	+ 4	470	- 4	
٦,	P業務純益	187	373	185	- 2	370	- 3	
信	用コスト	4	40	60	+ 56	90	+ 50	
経	常利益	178	340	105	- 73	265	- 75	
当期(中間)純利益		107	183	65	- 42	160	- 23	
経	常収益	543	1,112	505	- 38	1,015	- 97	



今後の経営の方向性について

2012年度

中期経営計画

~持続的成長力を備えた中四国No.1の ソリューション・バンクへの変革~

(平成24年4月~27年3月)

中期経営計画の体系



●「お客さまからの『ありがとう』のために」を合言葉に、

持続的成長力を備えた中四国No. 1のソリューション・バンクへの変革を目指します。

目指す 銀行像

C

S

の

さら

なる

向

上

親切で頼りがいある ベストパートナーバンク

中長期的に 目指す財務成果

時価総額 地銀トップ5

~持続的成長力を備えた中四国No.1のソリューション・バンクへの変革~ 合言葉:お客さまからの「ありがとう」のために

お客さまの価値
(事業価値・生活価値)向上への約束

持続的成長力 (収益性、生産性、健全性)

<基本方針①> お客さまに応じた最高の ソリューションの提供

<基本方針②>卓越した経営管理態勢の構築

<基本方針③>地域社会との長期的なWin-Win関係の構築

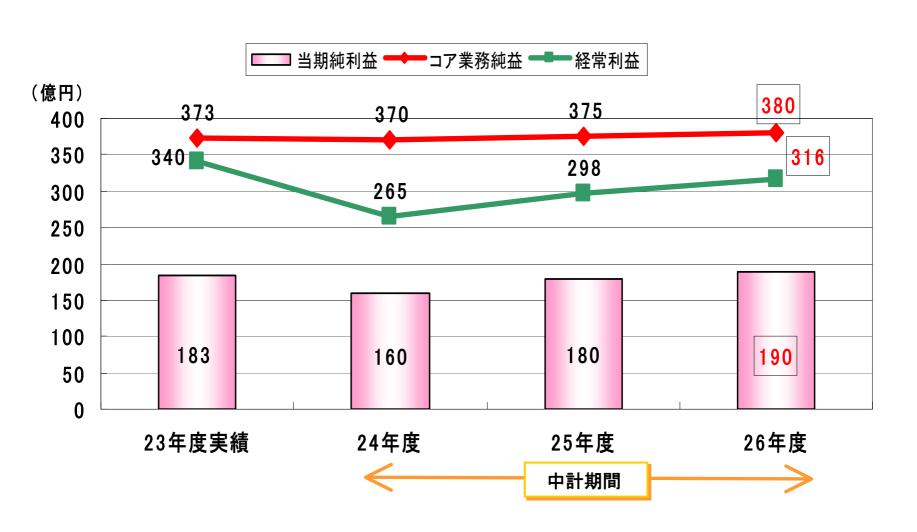
<変革のための基盤> 組織体質の変革 ~10年後を見据えた基盤づくり~ ESのさらなる向上

中期経営計画の数値目標(収益)



0

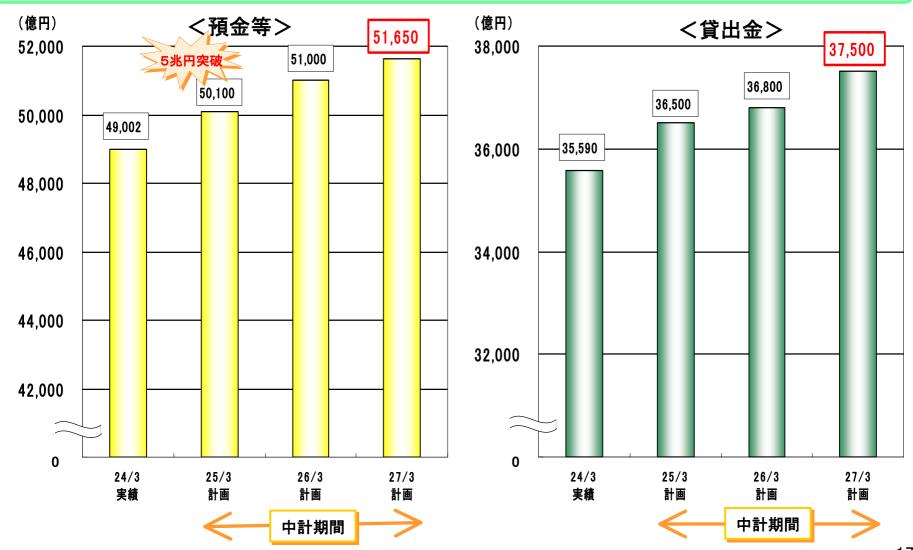
コア業務純益・当期純利益ともに、23年度実績を上回る水準を目指します。



中期経営計画の数値目標(預金等・貸出金)



- 預金等は、本年6月に<u>5兆円を突破</u>。27年3月末残高5兆1,650億円を計画しております。
- ●貸出金は、27年3月末残高3兆7,500億円を計画しております。





- ■対面、非対面チャネルによる接触強化等により、地域のお客さまとの強固なリレーションを構築いたします。
- リレーションを基礎として、最高のソリューションを提供してまいります。

強固なリレーションの構築

法人戦略

◆接触頻度・情報蓄積拡大による事業所先との リレーション強化

個人戦略

◆長期・安定取引につながる個人取引基盤の構築

最高のソリューションの提供

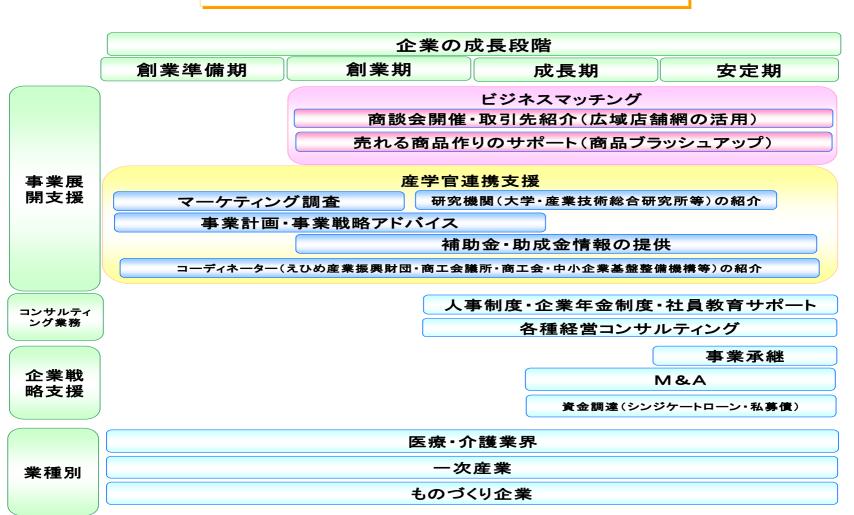
企業のライフサイクルに応じたソリューション提供力の強化 🎎





- 企業の成長段階に応じたコンサルティングメニューを提供し、企業の持続的成長・発展をサポートしてまいります。
- 創業期企業のサポートに注力し、地域経済活性化に貢献いたします。

ソリューション提供体制の強化



いよぎん証券の設立



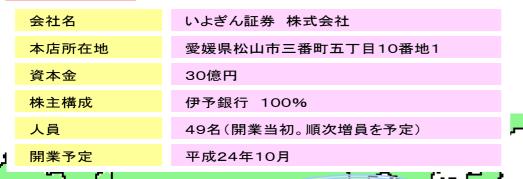
- 24年2月に証券子会社「いよぎん証券」を設立し、24年10月の開業に向けて準備しております。
- 愛媛県内の営業エリアをカバーするよう、伊予銀行の店舗内に4つの営業拠点を設置いたします。
- 伊予銀行グループが一体となって、お客さまの資産運用を総合的にお手伝いいたします。

会社概要

出店予定地

(八幡浜)

宇和島



松山本社

開業2年目には八幡浜に出店し 県内全域をカバーする予定です

新居浜

資産運用のお手伝い

- ●証券会社ならではの商品・サービスをご提供 いたします
- 幅広い選択肢からお客さまのニーズに 合った商品をお選びいただけます
- 株式や投資信託等をいよぎん証券の口座に おまとめいただくことで、特定口座内での損益 通算等のお手続きが簡単になります

営業開始日程

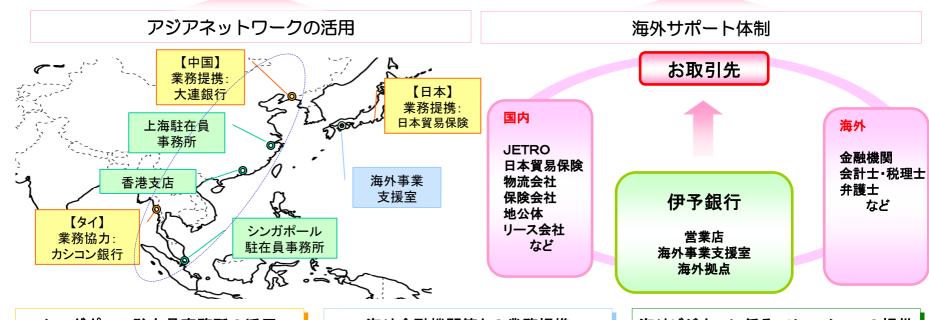
- 以下の日程で営業店をオープンします
 - 10月1日 本店営業部
 - 10月10日 新居浜支店
 - 10月17日 今治支店
 - 10月23日 宇和島支店

アジアの成長を取り込む国際化サポート



- 平成24年4月にシンガポール駐在員事務所を開設し、アジアでのネットワークを構築しております。
- 海外サポート体制を強化し、地域やお取引先の国際化をコーディネートいたします。

地域やお取引先の国際化をコーディネート



シンガポール駐在員事務所の活用

海外金融機関等との業務提携

海外ビジネスに係るソリューションの提供

- 投資環境、業界動向、現地情報の提供
- ・会計、税務、法務等に関する現地専門 家の紹介
- ・現地法人設立に関するアドバイスなど、 現地進出のサポート 等
- ・投資環境、業界動向、現地情報の提供
- ・銀行取引のサポート(口座開設等)
- ・貿易取引に係るリスクのアドバイス 等
- 海外進出に関する各種情報の提供
- 海外進出に関するアドバイス
- ・貿易業務、資金決済に関するアドバイス
- 現地での資金調達
- 海外ビジネスマッチングの実施
- ・海外進出に関するセミナーの開催 等

地域経済活性化サポートの拡充



● 産官学と連携し、地場産品の販路拡大、ものづくり、一次産業、観光等の各分野において、 地域の経済活動を積極的にサポートいたします。

<地場産品の販路拡大>

- ・首都圏・近畿圏での商談会開催
- ・大手百貨店での愛媛県フェアの開催
- ・販路開拓コーディネート強化
- ・新たなチャネル構築

く一次産業>

- •6次産業化支援
- ・農業生産・漁業事業法人の支援
- ・地域イノベーション構想への参加
- •水産物輸出支援

産

お取引先

伊予銀行 &

いよぎん地域経済研究センター

地域経済活性化サポート

くものづくり>

- ・大手メーカーと中小企業の 連携ネットワークの構築
- ・大手企業への訪問の実施、誘致

<観光>

- ・愛媛県の観光資源を活かした イベントの開催協力 (南予いやし博、大・島博覧会(仮称))
- -国際観光振興

学

各教育機関

- ・大学等との連携による提言機能の強化
- ・地元大学との共同調査等を実施

官

行政機関

- ・地公体関連部局(農・商・工)とのリレーション強化
- ・地公体の産業政策への積極的関与

店舗、商品・サービス、CSR活動等



店舗について

- 「西条支店」新築オープン
- 店舗外キャッシュコーナー県内最多 215か所設置
- ○「他行ATMご利用手数料無料サービス」等

預金商品について

- 震災復興応援定期預金「いよの絆」
- 第4回「いよぎんえんぎよい」

ローン商品について

- ○「いよぎんスペシャルファンド『フェニックス2』 東日本大震災・円高対策特別支援枠」
- ○「まるごと住宅ローンワイド」

ビジネスマッチング業務 について

- ヒジキ産地形成プロジェクト
- いよぎん こだわり食の商談会
- シンガポール「EHIME FAIR」
- 国内外で多数の商談会

CSR活動について

- 伊予銀行社会福祉基金
- 地域文化活動助成制度
- いよぎんキッズセミナー
- エコノミクス甲子園「愛媛大会」
- IRCニューリーダー・セミナー
- 伊予銀行環境基金「エバーグリーン」
- ○「森のあるまちづくり」活動

株主の皆さまへの利益還元



- 1株当りの配当金額を9円(+1円)に引き上げるとともに、期末配当において 創業135周年記念配当(1株あたり1円)を実施し、24年度の年間配当は10円を予定しております。
- 伊予銀行では、昨年度より「株主優待制度」を導入しております。

創業135周年記念配当の実施

- ●1株当りの配当金額を1円増配(8円→9円)
- ●創業135周年記念配当として1円実施



年間配当 10円

株主優待制度

3つのうちいずれか1つをお選びいただけます

▶愛媛県産品

愛媛県産品を集めたカタログからお好みの商品を選択

















- ◆株主優待定期預金 スーパー定期1年物の店頭表示利率+年0.50%
- ▶寄付 「日本赤十字社」への寄付

夢の大きさや年齢に関係なく、

何かに向かって挑戦する

その楽しさや素晴らしさは

私にとってかけがえのないことです。

たとえば、私の挑戦する姿に

笑顔になってくれる人たちがいたら

夢に向かって

挑戦。

それが笑顔に

つながるから 0

それは、また私の糧となり

次の挑戦へと導いてくれます。

この挑戦をやめないことは

笑顔で私を応援してくださる

皆さんへの恩返しなのです

これからも私は挑戦し続けます。

クルム伊達公子

感謝の心をこめて

Challenge Smile







本資料における、将来の業績につきましては、 発表時において入手可能な情報および将来の 業績に影響を与える不確実な要因に係る仮定を 前提としております。

将来の業績は、経営環境の変化等により異なる可能性があることにご留意ください。